

令和2年度「宇高診断票」集計結果

令和2年12月

調査の概要

学校評価の一環として、本校の取組について生徒、教職員、保護者はどのように評価しているかを、アンケート調査した。教育目標、教育活動などに関する19項目について、保護者は5段階、教員と生徒は4段階で回答していただいた。今年度は、質問項目を見直したため、過年度比較できない項目がある。

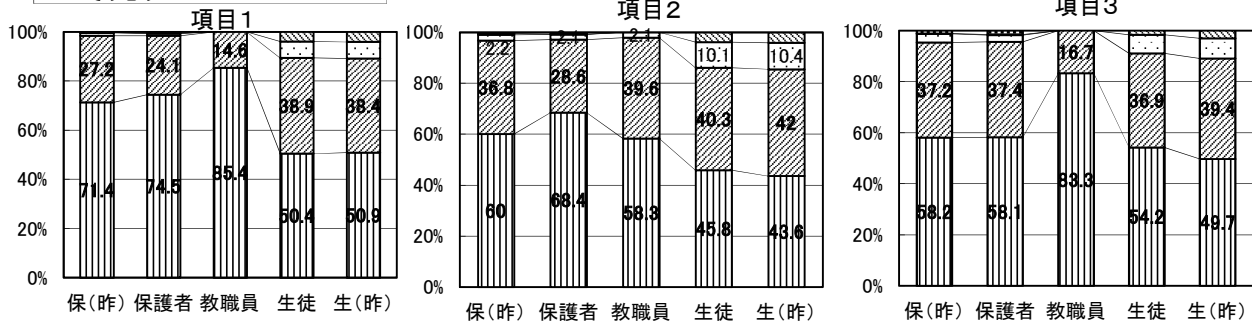
	保護者(昨年)	保護者	教職員	生徒	生徒(昨年)
回答者数 (回答率)	629 名 (75. 9%)	648名 (78. 9%)	48名 (94. 1%)	821名 (98. 4%)	810名 (97. 7%)
調査日	元年10,11月	2年10,11月	2年11月	2年10月	元年10月

質問項目と集計結果

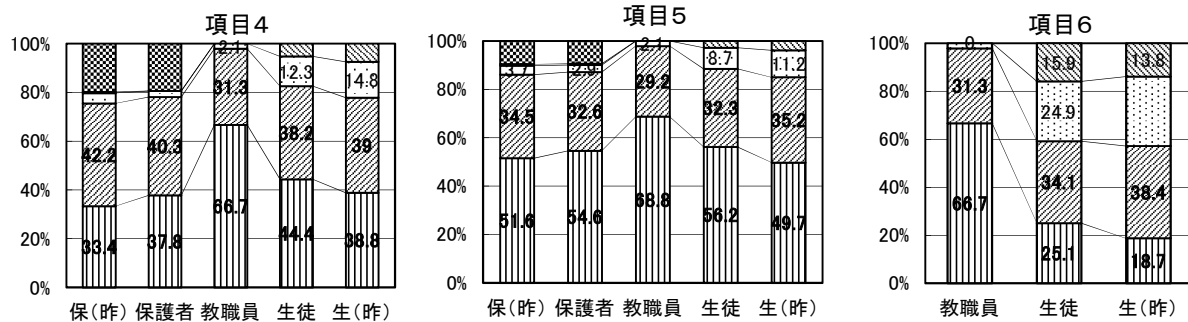
*は質問内容を一部変更したもの

- 1 本校の教育目標(全人教育を通した人格形成と人物育成)に共感できる。
- 2 本校は、教育目標や生徒指標について、生徒や保護者に分かりやすく伝えている。
- 3 本校の教員は、面談などを通して生徒と情報交換をし、適切な支援を行っている。

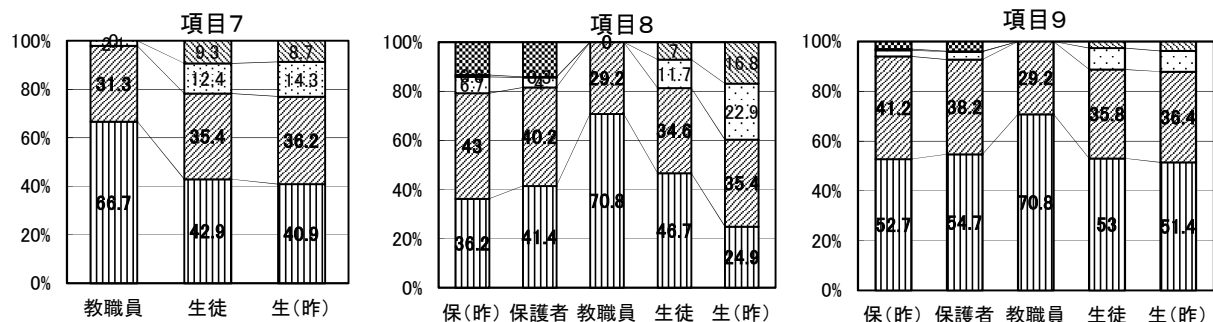
☒判断できない ※保護者のみ
☐そう思わない
☐どちらかといえばそう思わない
☐どちらかといえばそう思う
☐そう思う



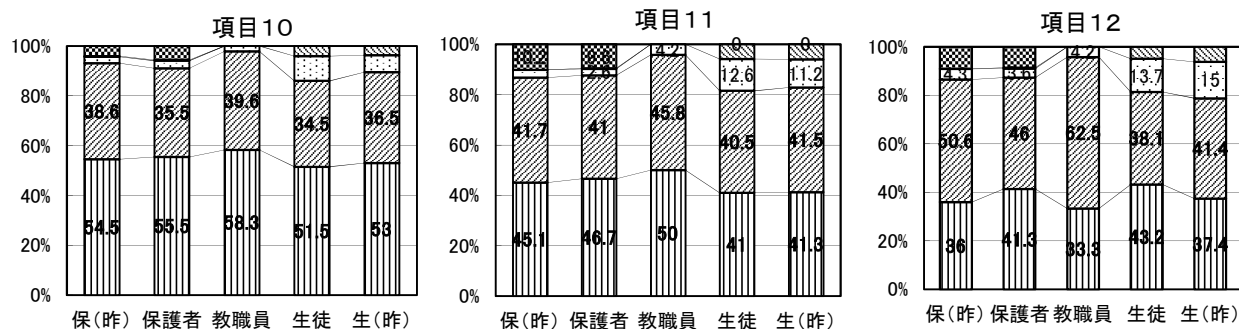
- 4 本校の生徒面接や各種調査、ホームルームや部活動の指導などは、いじめの早期発見やいじめ防止に役立っている。
- 5 本校の教員は、生徒の適性や進路希望等を踏まえた、探究的な授業を行っている。
- 6 【生徒】自分は、予習－授業－復習の学習サイクルの確立に努めている。
【教員】本校の教員は、予習－授業－復習の学習サイクルの確立するよう指導している。



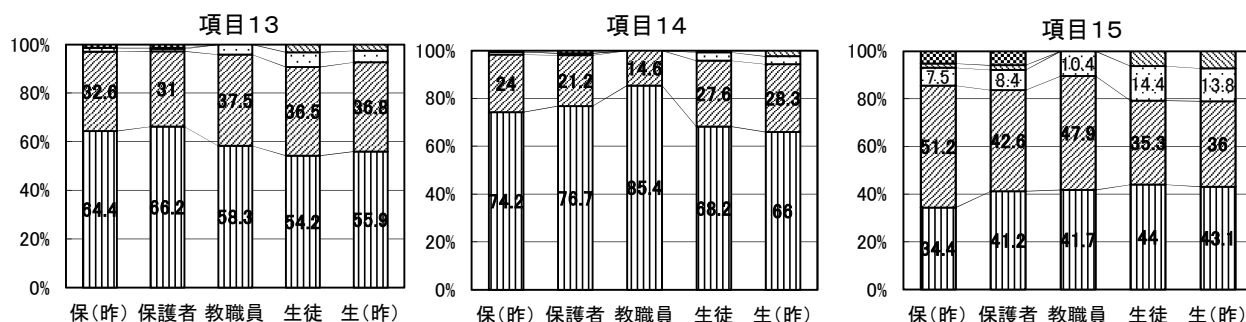
- 7 【2, 3年生、教員】本校の習熟度別授業は、生徒の学習意欲や学力の向上に効果的である。
- 8 本校の土曜講座は、生徒の知的好奇心の喚起に効果的である。
- 9 本校では、進路実現に向けて、生徒各自の努力を促す指導がなされている。



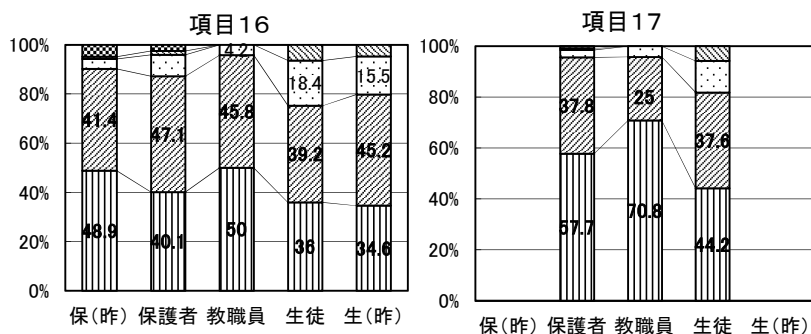
- 10 進路関係の資料や進路研究・課題研究などは、生徒が将来の自己の在り方や 生き方を考え、
キャリアを形成するうえで役に立っている。*
- 11 本校の人権教育、情報モラル教育などは、生徒の人権意識・道徳観を高めることにつながっている。*
- 12 本校は、他者への配慮、交通マナー、安全性の配慮など、社会人として必要な資質の向上に努めている。



- 13 本校の生徒心得(宇高生が学校生活で守るべきこと)は概ね納得でき、妥当である。
- 14 本校の学校行事、部活動などは、生徒の豊かな人間性や社会性を育み、自己を成長させる機会となっている。
- 15 本校は、施設・設備などの教育環境の充実に努めている。



- 16 本校は、ホームページなどを通じて、情報の発信に努めている。
- 17 本校は、感染症対策を講じながら、学びの保障に努めている。*



- 18 【生徒】自分は宇高に入って成長している。 【保護者】ご子息は宇高に入って成長している。
- 19 【生徒】自分は充実した学校生活を送っている。 【保護者】ご子息は充実した学校生活を送っている。

